

平成 25 年度日本植物病理学会関西支部会のお知らせ

平成 25 年度関西支部会開催地委員長 白石 友紀

平成 25 年度日本植物病理学会関西支部会を下記のとおり開催致しますので、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

I. 日程と会場（時刻は予定です）

- 日時：平成 25 年 9 月 26 日（木） 13：00～14：00 総会
14：15～17：45 一般講演（口頭・ポスター）
18：30～20：30 懇親会
- 平成 25 年 9 月 27 日（金） 9：00～12：30 一般講演（口頭・ポスター）
- 会場：岡山大学津島キャンパス 岡山大学 50 周年記念館 〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/virtual/index.html>
- 懇親会場：リーセントカルチャーホテル 〒700-0011 岡山市北区学南町 1-3-2
<http://www.culture-hotel.com/>

II. 参加申込

- 締切：平成 25 年 8 月 8 日（木）
- 費用：参加費 3000 円（講演要旨集 1 部を含む，8/9 以降は 4000 円），懇親会費 6500 円（学生 3500 円）
講演要旨集のみ 1500 円
- 要領：同封の郵便振替払込取扱票（口座番号：01320 - 0 - 89421，加入者名：平成 25 年度日本植物病理学会関西支部会）（他行からの振込の場合 店名：一三九（イチサンキユウ）店，預金種目：当座，口座番号：0089421）に必要な事項を記入し，締切日までにご送金下さい。払込用紙の通信欄に基づいて領収書を発行しますので，氏名などは正確に記入して下さい。郵便振替払込取扱票による送金をもって部会参加の申し込みとします。整理の都合上，払込用紙は参加者 1 名ごとに 1 枚をお使い下さい。払込用紙をさらに必要とされる場合は，郵便局に備え付けの用紙をご利用下さい。参加を申し込まれた方には，9 月中旬に講演要旨集ならびに名札をお送りします。この名札は領収書を兼ねますので，部会参加期間中は必ず携行して下さい。

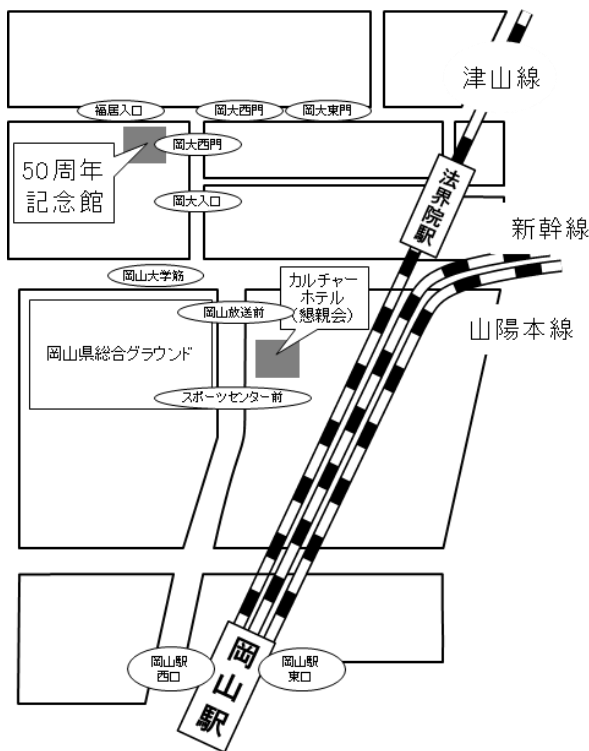
III. 発表申込

- 締切：平成 25 年 8 月 8 日（木）17:00
- 要領：発表ができるのは日本植物病理学会会員（平成 25 年度会費納入者）で，1 人 1 題のみとします。発表希望者は，末尾「講演要旨原稿作成要領」に従って講演要旨原稿を「Word 2007 以降のバージョン」で作成し，E-mail 添付ファイルとして関西支部会プログラム担当用アドレス（byori-pg@okayama-u.ac.jp）宛にご送付下さい。E-mail の題名（件名）は，「要旨」+「：」+「発表者氏名」として下さい。また，添付ファイル名は「発表者氏名.docx」として下さい。原稿が正しく受け付けられた場合には，受け取りのメールを送付者宛に返送します。受け取りのメールは 1～3 日で送付しますが，届かない場合は正しく受け付けられていない可能性がありますので再送付して下さい。講演要旨原稿送付をもって発表の申し込みと致します。なお，講演要旨は座長等による審査の後に「日本植物病理学会報」に掲載されます。

IV. 発表の形式と要領

- 発表形式の選択と決定：発表は口頭とポスターの両形式で行います。講演要旨申し込みの際に、希望の発表形式を記載して下さい。なお、「口頭を希望」あるいは「ポスターを希望」を選択された場合でも、プログラムの編成上ご希望に添えず、変更していただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。確定したプログラムは9月上旬に学会ホームページ (<http://www.ppsj.org>) に掲載しますので、ご確認ください。
- 口頭発表要領：口頭発表は討論時間を含めて12分を予定していますが、演題数によって変更することがあります。当日発表で使用するPCは全てWindows-PC、PowerPoint 2007がインストールされています。発表ファイルは「PowerPoint 2007以降のバージョン」で作成して下さい。発表用ファイルは、前もってWindows版「PowerPoint 2007」で正常に表示されることをご確認ください。ファイル名はすべて半角で「講演番号・発表者姓」として下さい（例「123-Shiraishi」）。ファイルはウイルス感染していないことを確認済みのUSBメモリに保存し、受付にお持ち下さい。また、重いファイルは円滑な講演の妨げとなる場合がありますので、できるだけ軽いファイルにして下さい。
- ポスター発表要領：指定された時間に自分のポスターの前に立ち、質疑に応じて下さい。ポスターは縦横105×80cmで作成して下さい。画鋲などの展示用具は会場に準備致します。

V. 宿泊と交通



開催地事務局では宿泊・交通等の斡旋は行いませんので、各自で手配をお願いします。会場までは公共交通機関（バスが便利です）やタクシー等をご利用下さい。

<会場までのアクセス（大学HP）>

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/50kinenkan02.html>

1) 岡山駅西口から岡電バス「岡山理科大学」行に乗車、「岡大西門」で下車して徒歩約1分

<http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku/pdf/gakuen.pdf>

2) 岡山駅東口から岡電バス「岡山大学・妙善寺」行に乗車、「岡大西門」で下車して徒歩約1分

<http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku/pdf/mimyoha.pdf>

3) 岡山駅東口から岡電バス「津高営業所」行に乗車、「岡山大学筋」で下車して徒歩約7分

http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku/pdf/53go_hei.pdf

※岡山駅東口からの2路線は市内を廻るため時間がかかります。

4) 岡山駅西口からタクシーで約7分。

5) 岡山駅から徒歩約30分

6) JR津山線「法界院」駅で下車、徒歩約10分。

VI. 連絡先

平成 25 年度関西西部会に関する各種お問い合わせは、開催地事務局（一瀬勇規）へお願い致します。講演発表の申し込みはプログラム担当（山本幹博）までお願い致します。

- ・平成 25 年度日本植物病理学会関西西部会開催地事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1 岡山大学環境生命科学研究科

TEL&FAX : 086-251-8308 (一瀬勇規)

E-mail : byori@okayama-u.ac.jp

- ・関西西部会プログラム担当

〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1 岡山大学環境生命科学研究科

TEL&FAX : 086-251-8301 (山本幹博)

E-mail : byori-pg@okayama-u.ac.jp

VII. 講演要旨原稿作成要領

昨年度と同じです。

<全体の大きさ>和文講演者氏名から所属略称までが、縦 73mm, 横 161mm の枠におさまるようにする。1つのファイルに収める講演要旨原稿は1つとする。

<ページ設定>

ー用紙サイズ : A4 用紙, 縦方向.

ー余白 : 上 15mm, 下 30mm, 左 25mm, 右 25mm.

ー文字数と行数 : 「文字数と行数を指定する」を選択し, 文字数 50, 字送り 9pt, 行数 51, 行送り 14pt にする.

<配置>両端揃え (所属略称のみ右端揃え)

<フォント>

ーフォントサイズ : すべて 9pt.

ー日本語用フォント : MS 明朝または平成明朝 (但し和文題目のみ MS ゴシックまたは平成角ゴシック)

ー英数字用フォント : Times New Roman. すべて半角.

ー句読点 : 「,」「.」

ーイタリック指定 : 題目, 本文中とも, 学名などイタリックにする必要があるものはすべてイタリックで表記.

<和文講演者氏名> (1 行) 講演者が複数の場合は中点「・」で区切り, 発表者名の前に丸印「○」をつける. 所属が異なる場合には, 「*」「**」で区別する.

<和文題目> (2 行以内) フォントは MS ゴシックまたは平成角ゴシックとする.

<英文講演者名と英文題目> (2 行以内) 氏名は, family name, first name initial, middle name initial の順に書き, initial の間にはスペースを空けない. 講演者名と英文題目の間は, コロン「:」で区切る.

<本文>9 行以内で記載する.

<所属略称> (1 行) 括弧「()」に入れ, 右端揃えとする. 複数の場合は中点「・」で区切り, 和文講演者氏名に対応させて「*」「**」をつける.

講演要旨原稿の下に、以下の情報を記入する。

- 1) 発表希望分野 「糸状菌病」「細菌病」「ウイルス病」「その他」の中から1つ選ぶ
- 2) 発表内容 「分類・同定・診断」「発生生態」「感染生理」「防除」「その他」の中から1つ選ぶ
- 3) 対象植物 和名または学名で示す
- 4) 対象微生物 和名または学名で示す
- 5) 原稿送付者の氏名
- 6) 原稿送付者の E-mail address
- 7) 発表者の学会会員番号（会員番号は封筒の宛名シールに記載されています。平成 25 年度会費未納の方は、至急会費をお支払い下さい。）
- 8) 希望の発表スタイル（口頭、ポスター、どちらでも可のいずれか一つを記載下さい）

講演要旨原稿の例

（実際の大きさです。点線枠は要旨集に掲載される範囲を示すもので、印字の必要はありません。）

○豊田和弘・石井寛子・山岸紀子*・吉川信行*・稲垣善茂・一瀬勇規・白石友紀
エンドウにおけるサリチル酸を介した防御応答は褐紋病菌に対する侵入抵抗性に関与している
Toyoda, K., Ishii, H., Yamagishi, N., Yoshikawa, N., Inagaki, Y., Ichinose, Y. and Shiraiishi, T.: Salicylic Acid (SA)-Mediated Defenses Are Involved in the Penetration Resistance of Pea against *Mycosphaerella pinodes*.
エンドウ褐紋病菌が生産するサブレッサーは、宿主のジャスモン酸 (JA) の合成系を転写レベルから促進し、エリシター誘導性のサリチル酸 (SA) に依存した防御応答を抑制しているものと考えられている。今回、*NPR1* (*Nonexpressor of PRI*) ならびに *ICS* (*Isochorismate synthase*) の発現を抑制したエンドウを作出し、SA を介した防御応答の褐紋病菌による制御機構について解析した。その結果、褐紋病菌を接種した野生型エンドウ葉には、6 時間目から JA 系の *Def2.1* の活性化が認められ、SA 系の *PR10-1* は 12 時間で最大となったが、その後減少した。一方、*NPR1* ならびに *ICS* 抑制個体での褐紋病菌の侵入率と誘導される病斑形成について調べたところ、病斑の進展には大きな違いは見られなかったが、付着器からの侵入率は非抑制個体と比較して上昇していることが明らかとなった。以上の結果は、褐紋病菌に対する侵入抵抗性には SA を介した応答が関与しており、「生産するサブレッサーが JA 合成を促進して宿主の防御を未然に回避する」、という考えを支持している。
(岡大院環境生命・*岩手大農)

- 1) 糸状菌病
- 2) 感染生理
- 3) エンドウ
- 4) エンドウ褐紋病菌
- 5) 豊田和弘
- 6) xxxxx@xxx.xxx.xx.jp
- 7) 123456
- 8) ポスター